

もし災害が起きたら、どうする？

震災の経験を生かし、いざという時に、人とペットが共生できる備えをしておくことも大切です。東京都福祉保健局 東京都動物愛護相談センターに取材をし、ペットと一緒に暮らす飼い主の災害への対応と、日ごろの備えについて教えていただきました。

災害が発生したら、まずは飼い主であるあなたの安全を確保しましょう。飼い主が無事でなければ、ペットの安全を守ることはできません。

避難が必要な場合、原則はペットと一緒に避難するのが理想的です。ただし、必ず避難所に一緒に連れて行かなければいけないわけではありません。自宅が安全で、定期的にペットのお世話をするために帰ることができるなら、避難所に連れて行かないという選択もあります。また、避難所でペットと人が同じ空間で一緒にいられるかどうかは、避難所によって異なります。それぞれの避難所で決められたルールに従ってください。

犬・猫・小鳥などの一般的なペット以外の動物は、避難所で受け入れが難しい場合もあります。もしものときの預かり先を確保しておくといでしょう。

災害時に慌てないために、日ごろから次のような備えをすることが大切です。

- 最寄りの避難場所や、避難経路を確認しておきましょう。
- 災害に驚いてペットが逃げ出し、はぐれてしまったときのために、首輪や鑑札、マイクロチップなどで身元がわかるようにしましょう。
- 災害のストレスや感染症の蔓延などで、ペットが体調を崩しやすくなります。ワクチン接種や寄生虫の駆除を行い、日ごろから健康管理につとめてください。
- 避難所で周囲に迷惑をかけないように、しつけをきちんと行いましょう。
- 3日～5日分の、ペットの防災用品を用意しておきましょう。

例) フード／水／常備薬／食器／トイレシート、猫砂など／首輪、リード／既往歴がわかる資料／ケージ、キャリーバッグ ほか

東京都動物愛護相談センターでは、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に向けて、さまざまな事業を行っています。たとえば、犬・猫の命を救うため、また模範的な飼い主を育成するために、譲渡事業を行っています。譲渡を受けるためには、条件があります。また、動物保護団体による譲渡会もあるので、問い合わせてみてください。

東京都福祉保健局 東京都動物愛護相談センター

03-3302-3507

www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/douso/index.html

staff&special thanks

cover photo 小倉直子
model 愛可&パロン
logo PICARO TARO
back cover cat リヴァイ

avex entertainment
東京都動物愛護相談センター
TOKYO FM
@FM (FM AICHI)

Kazuya Imakura
Taiji Kondo